

# THOMAS KOLDITZ

LONDON  
SPEAKER  
BUREAU

▪ Retired Brigadier General, professor and crisis leadership expert



## Topics

- Business
- Education
- Leadership
- Management
- Motivation
- Society

Tom Kolditzは、ライス大学のDoerr Institute of New Leadersのディレクターです。2015年7月以前は、リーダーシップとマネジメントの実践の教授であり、エール経営大学院のリーダーシップ開発プログラムのディレクターでした。リーダー開発のエキスパートとしての彼の経験は、公共、民間、そして社会の分野で40年に及びます。

Kolditzは、米軍士官学校の退職准将で、名誉教授と題して、ウェストポイントで行動科学 リーダーシップ学科を12年間率いました。その役割では、彼は管理、リーダー開発科学、心理学、そして社会学における教育、研究、そして活動の範囲を担当していました。経験豊富なグローバルリーダーであるGeneral Kolditzは、4大陸で26年以上のリーダーとしての役割を果たしています。彼の経歴は、一流の組織自身、あるいは部門を超えたリーダーシップとリーダーシップポリシーの研究に焦点を当ててきました。ペンタゴンではリーダーシップおよび人事ポリシーアナリストとして2年間、そして陸軍リーダーシップセンターではコンセプト開発者として1年間勤務し、ウェストポイントリーダーシップセンターの創設ディレクターを務めました。彼はThayerリーダー開発グループの設計と編成に尽力し、リーダー開発コンサルタント会社Saxon Castle LLCの管理メンバーです。

Kolditzは、危機的リーダーシップと極端な文脈におけるリーダーシップ、そしてプロジェクトチームから大規模な組織まであらゆる分野でリーダーシップとリーダー育成を浸透させるプログラムの開発に関する国際的に認められたエキスパートです。彼はさまざまな学術誌およびリーダーシップ業界誌に幅広く掲載しており、いくつかの学術誌の編集委員会および諮問委員会でも活躍しています。彼はアメリカ心理学会のフェローであり、管理アカデミーのメンバーです。ミズーリ大学心理学部顧問委員会、エグゼクティブ開発フォーラムの将来のための上級顧問評議会の創設メンバーであり、またグローバルリーダーシップ戦略ネットワークのための居住アカデミックです。彼のコンサルタントはグーグルとGEを含みます。

1980年からスカイダイビングのインストラクターであったKolditzは、West Point Sport Parachute Teamのシニアインストラクターを務めました。彼は兵士、スカイダイバー、そして学者としての彼の個人的な経験と能力を危険な状況での直接的な研究、分析、そして実践に導きます - その極限のリーダーシップの中で - 。彼の著書、「極限でのリーダーシップ：あなたの人生がそれに頼っているかのように導く」は、戦闘中にイラクで行われた175以上のインタビューに基づいています。彼はLeader InstituteのリーダーからLeadership Thought Leaderとして、そしてLeadership ExcellenceによってTop Leader Development Professionalとして指名されています。

Kolditzは、世界中の150以上の政府、企業、および社会部門の視聴者にリーダーシップの内容を紹介しました。教授として、彼はバブソン、ウェルズリー、オロン大学、コロンビア大学、デューク大学、エール大学、イスラエル国防軍軍事センター、北京大学から学術セミナーを主催したり講義を行ったりしてきました。北京国際MBAプログラム、ハーバード大学公共リーダーシップセンター、7つの

国内外のサービスアカデミー、10以上の大都市の法執行機関、消防、公共サービスアカデミーおよび総会。

彼はABC World News、ABC 20-20、Al Jazeera、MSNBC、CBS、NPR、Calgary Today、Morning Irelandに出演し、New York Times、Chronicle of Higher Education、AP通信、Time、ディスカバリー、アトランタジャーナル憲法、ワシントンポスト、ララゾン、そして1ダース以上の国内外の報道機関。

---

[info@londonspeakerbureau.my](mailto:info@londonspeakerbureau.my) +603 2301 0988